



特許協力条約に基づいて公開された国際出願

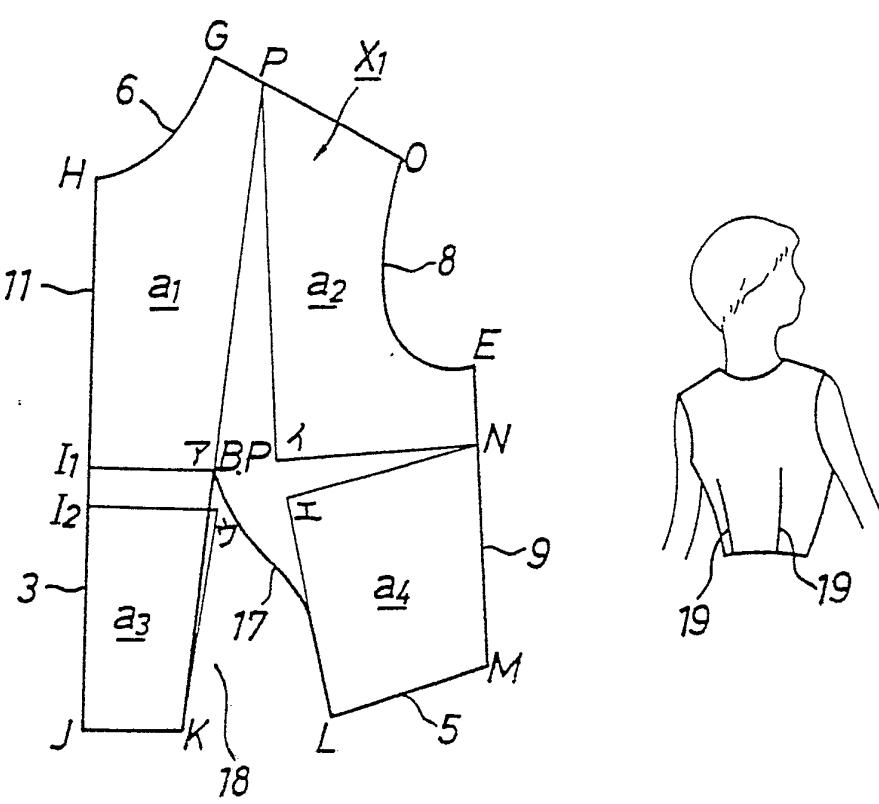
(51) 国際特許分類 ³ A41H 3/06	A1	(11) 国際公開番号 (43) 国際公開日	WO 83/04165 1983年12月8日 (05. 12. 83)
<p>(21) 国際出願番号 PCT - JP83 / 00163</p> <p>(22) 国際出願日 1983年5月26日 (26. 05. 83)</p> <p>(31) 優先権主張番号 特願昭57-89824</p> <p>(32) 優先日 1983年5月28日 (28. 05. 83)</p> <p>(33) 優先権主張国 JP</p> <p>(71) 出願人 ; および</p> <p>(72) 発明者</p> <p>ホリ ユカ (HORI, Yuka) [JP, JP] 〒253 神奈川県茅ヶ崎市浜町4丁目8番39号 Kanagawa, (JP)</p> <p>(74) 代理人</p> <p>今理士 今羽宏之 (NIWA, Hiroyuki) 〒105 東京都港区新橋3丁目3番14号 Tokyo, (JP)</p> <p>(81) 指定国 AU, DE, FR (欧州特許), GB, US.</p> <p>添付公開書類 國際調査報告書</p>			

(54) Title: METHOD OF CUTTING OUT FRONT OF CLOTHING

(54) 発明の名称 前身頃の裁断方法

(57) Abstract

This is a method of cutting out the front of clothing and the like. A human body is drawn as a flat stereoscopic projection without breasts, then a basic original pattern piece (1) used as a body design is divided into a plurality of segments a_1, a_2, a_3, a_4 along a plurality of cutting lines (13, 14, 15, 16) toward the periphery from a bust point B P as the center, the segments a_1, a_2, a_3, a_4 are moved in response to measured personal dimensions and are placed so as to conform to the clothing of the design required. The profile of the figure is then used to obtain pattern pieces X_1, X_2, X_3 for the front, and the cloth is cut out using the pattern pieces. When clothing of a design having darts is fabricated, triangular notches (18, 21, 23) are formed in the pattern pieces X_1, X_2, X_3 to obtain darts (19, 20, 22) at the desired cutting positions indicated by the cutting lines (13, 14, 15, 16), and these are cut out.



(57) 要約

洋服等の前身頃の裁断方法である。人体を胸部のないフラットな立体構造体として体形作図し、次にこの体形作図としての基本原型1をバストポイントB・Pを中心として外方に向かう複数の切線13、14、15、16によって複数の分割片a₁、a₂、a₃、a₄とし、各個人の採寸に応じて複数の分割片a₁、a₂、a₃、a₄を移動させて、求めるデザインの洋服にかなった状態に各分割片a₁、a₂、a₃、a₄を置き、その外形を結んで前身頃の型紙X₁、X₂、X₃を得て、この型紙によって生地を裁断する。

そして、ダーツを有するデザインの洋服を製作する場合には、前述の切線による所望の切線箇所にダーツ19、20、22、を得るため鋭角三角形状の切欠部18、21、23を型紙X₁、X₂、X₃に形成して裁断する。

情報としての用途のみ

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第1頁にPCT加盟国を指定するために

使用されるコード

AT	オーストリア	KP	朝鮮民主主義人民共和国
AU	オーストラリア	LI	リヒテンシュタイン
BR	ブラジル	LU	ルクセンブルグ
CF	中央アフリカ共和国	MC	モナコ
CG	コンゴー	MG	マダガスカル
CH	スイス	MW	マラウイ
CY	カメルーン	NL	オランダ
DE	西ドイツ	NO	ノールウェー
DK	デンマーク	RO	ルーマニア
FI	フィンランド	SE	スウェーデン
FR	フランス	SN	セネガル
GA	ガボン	SU	ソヴィエト連邦
GB	イギリス	TD	チヤード
HU	ハンガリー	TC	トーゴ
JP	日本	US	米国

明細書

前身頃の裁断方法

5 技術分野

この発明は、洋服における前身頃の裁断方法に関するものであり、特に、体形作図としての基本原型から目的とする、或るデザインを得るに際し、正確な製図を簡便にして容易かつ速やかに10すことができ、しかもどのような体型にもフィットする洋服等を仮縫なしに製作でき、なおかつ時間と経費の節約を図ることができ15る洋服、特にその前身頃の裁断方法に関するものである。

背景技術

従来、一般に知られる裁断方法として平面裁断法と立体裁断法および両者の併用法が知られている。そして、いづれの裁断方法も仕立物についての仮縫による確認と修正とを前提とし煩雑面倒で熟練を必要とすると共に個々の人体に完全に適応した裁断は非常に困難であった。

ところで、人体という立体構造体を平面作図ではなくいわゆる人台と呼ばれている人体模型を用いて立体的に作図するようにした立体裁断法は、平面裁断法に比較し、優れていることは勿論であるが、人体模型と個々の人体との形状の相異に伴う裁断の修正、補正は非常に難かしく熟練を必要とするので、簡単には裁断できないという問題点を有するのみならず、人体模型に対して布または紙を貼りながら型紙を調製しなければならないので短時間か25つ能率的な裁断ができないという不都合があつた。この発明は、



上述の点に着目してなされたもので、従来必要とした仮縫という面倒な作業を無くし、個々の人体に即応した型紙の調製を可能とし、さらにきわめて短時間のうちに実施可能な前身頃の裁断方法を提供することを目的としている。

5

発明の開示

すなわち、この発明は、人体を凹凸のないフラットな立体構造体として捉え、このフラットな立体構造体の基本原型をまず作図し、つぎに該基本原型の胸部（乳部）の中心位置（バストポイント）より外方に向かう切線を必要数穿ち、胸部の突出形状に応じた分だけ切線箇所を拡開して所望の型紙を得ると共にこの型紙によつて生地を裁断するようにした前身頃の裁断方法である。

又、この発明は、上述の改良された裁断方法において、必要数穿つ切線は、鋭角三角形状の切欠部として型紙に形成して裁断できるようにしてある。このことによつて、型紙に基づいて生地を裁断し縫合すれば型紙の切欠部に相当する箇所にダーツを有するデザインの服を製作できる。

図面の簡単な説明

第1図は、この発明に係る前身頃の基本原型の説明図、第2A図、第3A図、第4A図はそれぞれ第2B図、第3B図、第4B図に示されるデザインの三例の服を得るために三例の型紙の作図説明図、第2B図、第3B図、第4B図はそれぞれ第2A図、第3A図、第4A図の型紙によつて裁断縫製される服の三例を示す斜視図である。

発明を実施するための最良の形態

25 この発明をより詳細に説述するために、以下添付図面に従つて

これを説明する。

まず、前身頃の基本原型1の作図法を説明する。横方向に基準線2を書き、所望の前身頃の長さを保持できる点A、Bを設定して各点A、Bより背丈寸法線3、4を垂下描出して背丈長さを示す点C、Dを設定しあつ両点C、Dを結んでウエスト線5を形成する。

点Aのコーナー部には前衿ぐり線6を描出すると共に点Bに向つて前肩線7および点B、Dとの中間に向つて前袖ぐり線8を作図すると共に該前袖ぐり線8の端部の点Eから点C、Dのウエスト線5に向つてわき線9を描くものである。そして、点Eより横方向に向つてウエスト線5、基準線2と平行する中心線10の背丈寸法線3との交点Fより上方に向つて胸くせ線11を描いて、基本原型1のほだ外形を描出できる。

さらに前衿ぐり線6と前肩線7との交点Gより乳下がり線12を作り、所望の計測された長さの下に乳部の中心すなわち乳頭(バストポイント)B・Pを設定すると共にこのバストポイントB・Pは両バストポイント間の長さとの $\frac{1}{2}$ の長さを背丈寸法線3より乳下がり線12に向つて計測した位置に設定して茲に基本原型1得る。そして、該バストポイントB・Pを中心として背丈寸法線13、前肩線7、わき線9およびウエスト線5にそれぞれ向う切線14、15、16を穿ち、四個の分割片 a_1 、 a_2 、 a_3 、 a_4 を形成するものである。なお、切線16は二本とし銳角状三角片17を切除している。

このようにして得られた基本原型1を用いて、第2図以降の具体的なデザインに基づく型紙の作図と裁断方法を述べる。



まず、第2A図は、第2B図に示されるデザインを得るための型紙の作図を示すもので、基本原型1を構成する四個の分割片 a_1 、 a_2 、 a_3 、 a_4 をバストポイントB・Pを構成するア点と他の点イ、ウ、エの各点をそれぞれ離開させ、ア点とウ点との間隔を5背丈寸法と前丈寸法の差として上下に拡げ、またア点とイ点との間隔を両腕のつけ根間の寸法とトップバストの $\frac{1}{2}$ の寸法との差として拡げ、さらにエ点がN点とウ点を接続する線上にくるように各分割片 a_1 、 a_2 、 a_3 、 a_4 を組みおき、そしてア点とL点間に乳房のふくらみ線17を描きL点とア点とK点で形成される10略々銳角三角形状の切欠部18を形成してG→H→I₁→I₂→J→K→ア→L→M→N→E→O→P→Gの各点を結んで茲に型紙X₁が得られる。この型紙X₁に基づいて生地を裁断し縫合すれば第2B図に示されるように型紙X₁の切欠部18に相当する箇所にダーツ19を有するデザインの服を製作できる。

15 第3A図は、さらに第3B図に示すように乳房の側部にもダーツ20を形成する場合の型紙X₂の作図を示したもので、ア点とウ点と位置関係は第2A図と同様でありI₂点とウ点を接続する延長上にエ点を置き、さらにエ点とN₂点とを接続する線と、イ点とN₁点とを接続する線とが平行になるように組み置いたもの20である。そして、前記実施例と同様にア点とL点内に乳房のふくらみ線17を描き、イ点とN₁点、イ点とN₂点を結びN₁点と、イ点とN₂点とで形成される銳角三角形状の切欠部21を設けG→H→I₁→I₂→J→K→ア→L→M→N₂→イ→N₁→E→O→P→Gの各点を結んで型紙X₂が得られる。したがつて、この型紙X₂に基づいて生地を裁断し縫合すれば第3B図に示すよ

うに二個処にダーツ 19、20 が形成される服を縫製できる。

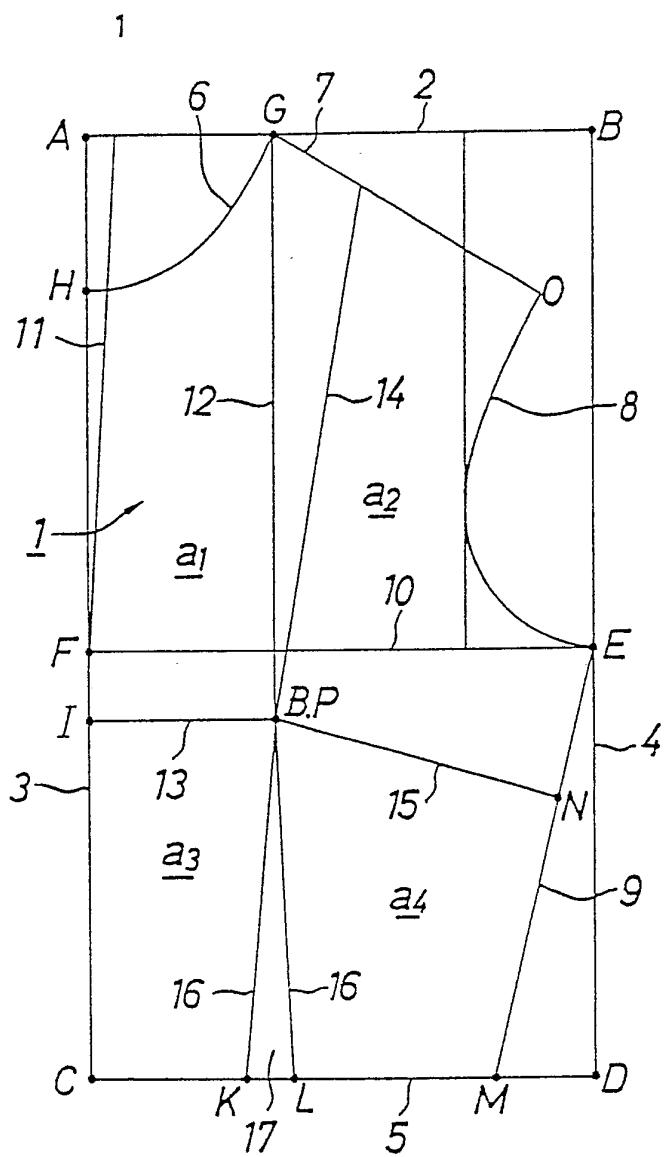
第 4 A 図は、第 4 B 図に示すプリンセスライン 22 を形成する場合の型紙 X₃ を示すもので四つの分割片 a₁、a₂、a₃、a₄ をア点、ウ点は第 2 A 図と同様の位置に置き、イ点をバストポイントのア点と N 点を接続する線上に置き、そして、ア点と P₁ 点、ア点と P₂ 点とをプリンセスライン 22 を形成するための切欠部 23 として乳房のふくらみ線 17 と通ずる上脇線 23 を描出して、G → H → I₁ → I₂ → J → K → ウ → L → M → N → E → O → P₂ → ア → P₁ → G の各点を結んで型紙 X₃ を作ることができる。

したがつてこの型紙 X₃ に基づいて生地を裁断し縫合すれば第 4 B 図のようなプリンセスライン 22 を有する服を得ることができる。

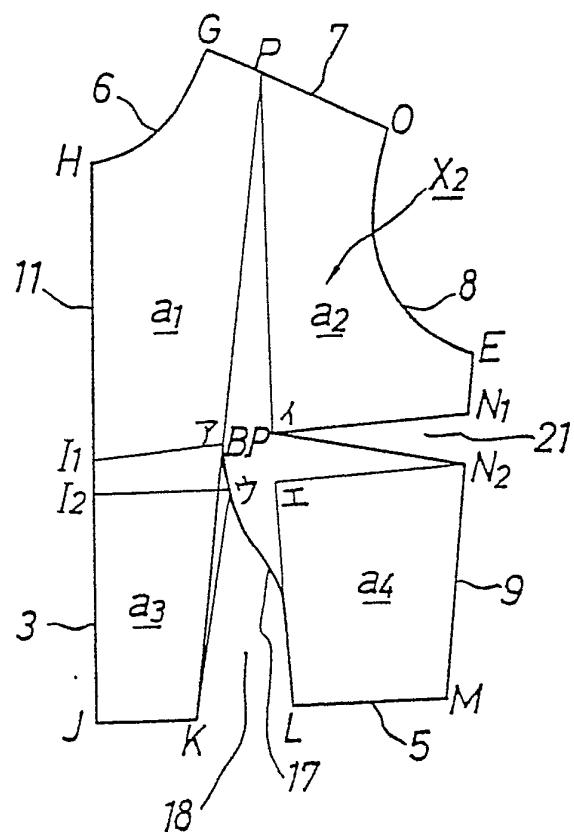
産業上の利用可能性

以上のように、この発明に係る前身頃の裁断方法は、型紙の作成、裁断が簡易迅速に行なえると共に仮縫いなどの煩雑な手数を要せず各個人の体型にマッチした洋服が得られるので紳士服、子供服、婦人服等の製造分野に広く有用である。そしてさらに、脇部の膨出部分は、平坦な基本原型から採寸によつて得られる量だけバストポイントを中心として拡大しているので、脇部の形状にフィットした着心地の良い優美な服を提供できるから婦人服の製造分野には殊に有用である。

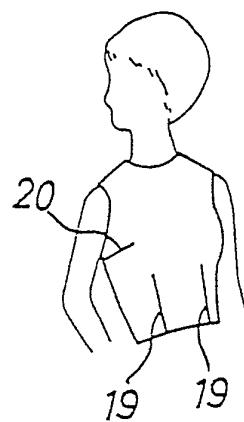
第 1 図



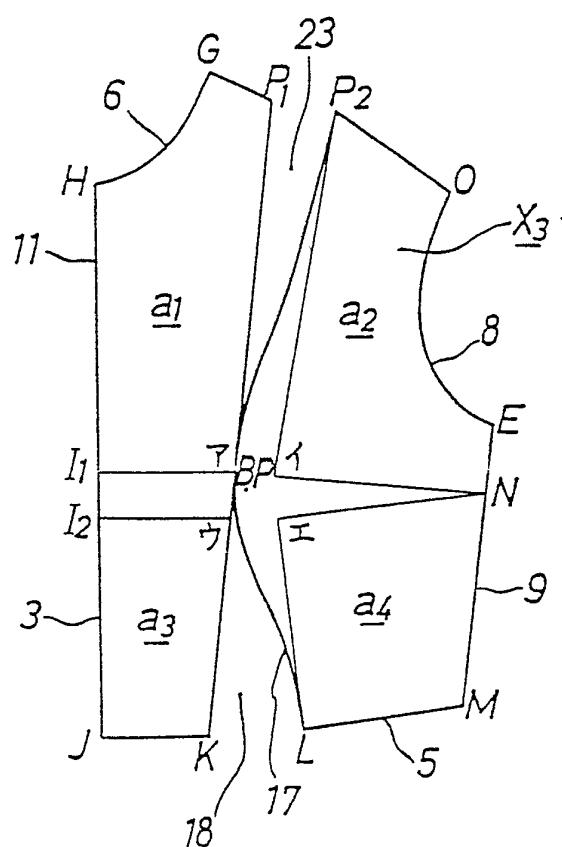
第3A図



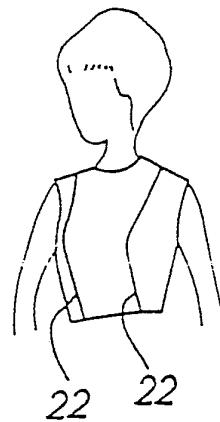
第3B図



第4A図



第4B図



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International Application No. PCT/JP83/00163

I. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER (If several classification symbols apply, indicate all) ¹		
According to International Patent Classification (IPC) or to both National Classification and IPC Int. Cl. ³ A41H 3/06		
II. FIELDS SEARCHED		
Minimum Documentation Searched ⁴		
Classification System	Classification Symbols	
IPC	A41H 1/00 - 3/08 A41D 1/02, 1/04	
	Documentation Searched other than Minimum Documentation to the Extent that such Documents are Included in the Fields Searched ⁵	
	Jitsuyo Shinan Koho 1922 - 1983 Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1972 - 1983	
III. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT¹⁴		
Category ⁶	Citation of Document, ¹⁶ with indication, where appropriate, of the relevant passages ¹⁷	Relevant to Claim No. ¹⁸
P	JP,Y2, 58-12808 (Hori Yuka) 11. March. 1983 (11.03.83) Column 2, lines 8 to 23, Figs. 2A to 4B	1, 2
A	JP,A, 55-16902 (Arakawa Yuko) 6. February. 1980 (06.02.80) P.4, Column 1, line 7 to Column 2, line 1 · Column 2, line 14 to Column 3, line 4 · Fig. 6	1, 2
A	JP,A, 52-17947 (Sakuma Reiko) 10. February. 1977 (10.02.77) P.2, Column 1, line 15 to Column 2, line 3. Fig. 3	2
<p>* Special categories of cited documents: ¹⁵ "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed</p> <p>"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family</p>		
IV. CERTIFICATION		
Date of the Actual Completion of the International Search ² August 4, 1983 (04.08.83)	Date of Mailing of this International Search Report ² August 15, 1983 (15.08.83)	
International Searching Authority ¹ Japanese Patent Office	Signature of Authorized Officer ¹⁹	

国際調査報告

国際出願番号 PCT.JP 83/00163

I. 発明の属する分野の分類		
国際特許分類(IPC)		
Int. Cl ³ A 41 H 3 / 06		
II. 国際調査を行った分野		
調査を行った最小限資料		
分類体系	分類記号	
IPC	A 41 H 1 / 00 - 3 / 08	
	A 41 D 1 / 02, 1 / 04	
最小限資料以外の資料で調査を行ったもの		
日本国実用新案公報 1922 - 1983年		
日本国公開実用新案公報 1972 - 1983年		
III. 関連する技術に関する文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号
P	JP, Y 2, 58-12808 (保利有薰) 11.3月。 1983 (11.03.83) 第2欄第8-23行・第2A -4B図	1, 2
A	JP, A, 55-16902 (荒川裕子) 6.2月。 1980 (06.02.80) P.4 第1欄第7行-第2欄第 1行・第2欄第14行-第3欄第4行・第6図	1, 2
A	JP, A, 52-17947 (佐久間玲子) 10.2月。 1977 (10.02.77) P.2 第1欄第15行-第2欄 第3行・第3図	2
*引用文献のカテゴリー 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」先行文献ではあるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日 若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願日の 後に公表された文献 「T」国際出願日又は優先日の後に公表された文献であって出願 と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のた めに引用するもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規 性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文 献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性 がないと考えられるもの 「Z」同一パテントファミリーの文献		
IV. 認証		
国際調査を完了した日 04.08.83	国際調査報告の発送日 15.08.83	
国際調査機関 日本国特許庁 (ISA/JP)	権限のある職員 特許庁審査官 渡 部 葦子	3 B 7 1 5 0